

● 草の根パートナー型

平成23年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	アルゼンチン共和国
2. 事業名	生物資源の持続可能な利用による地域住民の生計向上支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	地域住民の貧困と過剰利用が要因となって、地域の生物資源、特にチャコ生態系の固有種であり重要な森林資源であるパロ・サント（Bulnesia sarmentoi）等の生物資源量と持続可能な利用が脅かされており、生計向上による資源の持続可能な利用へのインセンティブ向上が求められている。
4. プロジェクト目標	持続可能な資源利用による地域住民の生計向上につながる仕組みが整うことにより、持続可能な発展に向けた好適サイクル・インセンティブが強化され、住民の生活基盤であるフォルモッサ州のチャコ生態系保全の基盤が整えられる。
5. 対象地域	フォルモッサ州 ラス・ロミタス地区とエストレジャ湿地
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	パティノ郡ラス・ロミタス地区生物資源管理グループ、ラス・ロミタス地区住民
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 持続可能な生物資源活用事業としてイエローアナコンダを対象とした活動が事業化される、 (2) 持続可能な生物資源活用事業としてパロ・サント等を対象とした活動が事業化される、 (3) 持続可能な生物資源活用事業として良好な自然環境とそこに生息する生物を対象としたエコツーリズム活動が事業化される、 (4) エストレジャ湿地の保全計画が作成され保全活動が行われる、 (5) 環境教育の実施により住民の生活基盤である自然の保全の重要性が認識され持続可能な資源利用の重要性の認識が深められる。 <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ハンターグループ、パロ・サントグループ、エコツーリズムグループの組織化、 (2) パロ・サント端材等からの有効成分の抽出利用、アナコンダ皮革販路拡大、 (3) イエローアナコンダ、パロ・サントに係る環境配慮型認証制度の導入、 (4) エコツーリズム・プログラム開発、 (5) エストレジャ湿地の保管理計画作成、 (6) 環境教育
8. 実施期間	2012年5月から2017年4月（5年間）
9. 事業費概算額	101,552千円
10. 事業の実施体制	アルゼンチン生物多様性財団（Fundacion Biodiversidad Argentina）を現地カウンターパート機関とし、地方自治体（フォルモッサ州、パティノ郡、ラス・ロミータ町）およびフォルモッサ州立大学の協力を得て実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	財団法人自然環境研究センター
2. 活動内容	人間と環境の関わり注目しながら、自然環境を科学的・計画的に保全し、次世代に引き継ぐため、特に自然環境の調査研究、情報収集、出版、および希少種保全のための国の施策等への協力を国内外で実施している。